

◆障がいの区分

身体障がい者	原則として身体障害者福祉法に規定する身体障害者手帳の等級が1級から6級に該当する者又は7級の障がいが2つ以上重複している者
重度の身体障がい者	身体障害者手帳の等級が1級又は2級に該当する者
知的障がい者	児童相談所、知的障がい者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医又は障害者の雇用の促進等に関する法律第9条の障害者職業センターから知的障がい者と判定された者
重度の知的障がい者	知的障がい者のうち知的障がいの程度が重いと判定された者で、具体的には、次のいずれかの場合に該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ・療育手帳で程度が「A」の者 ・児童相談所、知的障がい者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医が療育手帳の「A」に相当する程度（特別障害者控除を受けられる程度等）と判定した判定書を所持している者 ・障害者職業センターが「重度知的障がい者」と判定した判定書を所持している者
精神障がい者	精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

◆従業員の人数のカウント方法

①常用雇用労働者：1人

「雇用期間の定めがなく雇用されている労働者」及び「一定の雇用期間を定めて雇用されている労働者であって、その雇用期間が反復更新され、過去1年を超える期間について引き続き雇用されている労働者、又は、雇入れの時から1年を超えて引き続き雇用されると見込まれる労働者」であって、1週間の所定労働時間が30時間以上である労働者を記入する。

【例】

- ・雇用期間の定めのない労働者
- ・一定期間（1か月・6か月等）を定めて雇用される者であっても、その雇用期間が反復更新されて事実上「雇用期間の定めのない労働者」と同様の状態にあると認められるもの
- ・日々雇用される者であっても、雇用契約が日々更新されて事実上「雇用期間の定めのない労働者」と同様の状態にあると認められるもの

②短時間労働者：0.5人

- ・短時間労働者とは、1週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用されている通常の労働者の1週間の所定労働時間よりも短い労働者であって、1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満であること。
- ・雇用期間の定めがなく雇用されている労働者、又は過去1年を超える期間について引き続き雇用されている労働者、又は雇入れの時から1年を超えて引き続き雇用されると見込まれる労働者を記入すること。